

第	號	案	起
		十四	六
年	月	日	行
年	月	日	施
年	月	日	

内閣總理大臣 依 内閣書記官長 内閣書記官

薩哈連炭礦株式會社發起人出

願件

右別案通出願狀許相成可然
為決定

内閣

裏面白紙

御願

拜啓今般薩哈噠炭鑛株式會社ヲ發起大正拾四年壹月貳拾日附締
結ノ日露協約議定書乙號ニ基ク細目協定交渉ハ己ニ炭田利權細
目協定代表トシテ御決定相成候奧村政雄ニ全權委託致候就而協
定成立后本會社設立可仕候間同協約議定書乙號第三ニ規定被致
候當業者トシテ露國政府ニ御推薦被成下度別紙發起人名簿相添
此段及御願候也

大正拾四年六月貳拾五日

薩哈噠炭鑛株式會社發起人總代
齋藤 延

內閣總理大臣 加藤 高明 殿

追而定款並目論見書ハ去貳拾日御手許迄差出置候間先着御了
承ノ事ト奉存候

薩哈噠炭鑛株式會社發起人名簿

佐	田	伊	杉	齋	矢	渡	前	林	牧
	阪	藤	山		島	邊	川	幾	田
野			藤						
	一	信	正		富	得	益	太	
滋	郎	愛	重	延	造	男	以	郎	環

裏面白紙

供覽

内閣書記官

内閣書記官

軍需機密第二七號

内閣官房
海軍省軍需局

ハ薩哈連岸斜機式層社葬起人總代商所近ヨリ
提出付人 願者 一通

(預書簡)



3

模造半葉十三行紙

裏面白紙

海軍

裏面白紙

大正十四年六月二十日

三菱合資会社内

佐野滋代

内閣書記官長 江木翼 殿

拜啓六月二十日^附海軍省告示達ニヨリ薩哈噠炭硯株式
会社定款及目論見書各一部御送付申上候間此查
閱被成下度右御案内迄代段得貴意候 敬具

裏面白紙

一、薩哈連炭坑株式會社定款及目論見書
二、薩哈連炭坑株式會社定款
三、薩哈連炭坑株式會社所屬炭坑概況
四、薩哈連炭坑株式會社目論見書

裏面白紙

三菱合資會社查業課

薩哈連炭礦株式會社定款（案）

第一章 總則

第一條

本會社ハ薩哈連炭礦株式會社ト稱ス。

第二條

本會社ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス。

一、石炭其他礦物ノ採掘、賣買。

二、前號ノ業務ニ關係アル化學工業、農林業、運送業。

三、前各号ニ掲クルモノノ附帶事業。

第三條

本會社ハ本店ヲ東京市ニ置キ支店又ハ出張所ハ營業ノ

都合ニ依リ便宜ノ地ニ之ヲ設置ス。

第四條

本會社ノ資本金ハ五十萬圓トス。

第五條

本會社ノ公告ハ東京市ニ於テ發行スル時事新報ニ之ヲ掲載

ス。

第二章 株式

第六條

本會社ノ株式ハ壹萬株トシ壹株ノ金額ヲ五拾圓トス。

第七條

株主ハ帝國臣民ニ限ル

第八條

株主ハ住所氏名及印鑑ヲ本會社ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタル時亦同シ

外國居住ノ株式主ハ豫メ日本國內ニ假住所又ハ代理人ヲ

定メ本會社ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタル時亦同シ

第九條

株金拂込ノ期日金額及方法ハ取締役會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第十條

株金ノ拂込ヲ怠ル株主ハ其拂込期限ノ翌日より拂込當日ニ至ル迄百圓ニ付一日四錢ノ割合ノ遲延利息ヲ支拂ヒ且遲延ニヨリ生シタル費用及損害ヲ辨償スヘシ

第十一條

株券ハ壹株券、五株券、拾株券、百株券ノ四種トシ總テ記名式トス

第十二條

毀損、亡失、分割、併合等ニヨリ新株券ノ交付ヲ受ケ又ハ株式ノ名義書換ヲ爲サントスル株主ハ本會社所定ノ手續ニ從ヒ請求

スヘシ此場合ニハ本會社所定ノ費用ヲ支拂フコトヲ要ス

第拾參條 毎年五月壹日より定時株主總會終了ノ日迄及臨時株主總會開會ノ日ニ限り株券ノ名義書換ヲ停止ス但豫メ公告シテ臨時總會開會前相當ノ期間名義書換ヲ停止スルニトアルヘシ

第參章 株主總會

第拾四條 定時總會ハ毎年五月之ヲ招集ス

第拾五條 株主ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行使スルコトヲ得但シ其ノ代理人ハ本會社ノ株主タルコトヲ要ス

第拾六條 總會ノ議長ハ取締役會長之ニ任ス 取締役會長支障アル時ハ他ノ取締役之ニ任ス

議長ハ株主トシテ其議決權ヲ行使スルコトヲ妨ケス
第拾七條 總會ノ決議事項ニ對スル意見ニシテ可否同數ナル時ハ議長之ヲ裁決ス

第拾八條 總會ノ議事ハ其要領ヲ決議録ニ記載シ議長及監査役一名以上記名捺印シテ之ヲ本會社ニ保存ス

第四章 役員

第十九条 本会社ニ取締役五名以内監査役三名以内ヲ置ク。

取締役及監査役ハ本会社株式百株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主

總會ニ於テ之ヲ選任ス

第二十条 取締役ノ任期ハ就任后二年、監査役ノ任期ハ就任后一年ノ

定時株主總會終結ノ時ヲ以テ終了ス

補欠ニ因リ選任セラレシ取締役又ハ監査役ノ任期ハ前任者ノ

残任期ニ據ル

第二十一条 取締役又ハ監査役ニ欠員ラシムル場合ト虽モ法定員数ヲ欠

カス且業務ニ支障ナキ時ハ補欠選任ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十二条 取締役ハ互選シ以テ取締役会長ヲ一名、常務取締役若干名ヲ

定ム

第二十三条 取締役会長及常務取締役ハ本会社ヲ代表ス

第二十四条 取締役ハ取締役會ヲ組織シ業務ノ執行ハ其決議ニ依ル但シ

取締役会ノ決議ヲ以テ委任シタル業務ハ常務取締役ニヲ專行ス

第三十條

取締役会ハ取締役会長又ハ常務取締役ニヲ召集ス

取締役会ノ議事ハ出席取締役ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス 可否同

教ナルトキハ会長ニヲ決ス

第三十一條

取締役又ハ監査役ノ報酬ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條

取締役ハ其ノ所有係ル本会社株券一百株ヲ監査役ニ供託ス

ハシ

第五章 計算

第三十三條 本会社ノ営業期ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄 年一期トシ

毎々業期末ニ決算ヲ行フ

第三十四條

本会社ノ損益計算ハ每期收入金ヨリ總支出金ヲ扣除シタル

残額ヲ利益金トシ積立金株主配当金、役員賞与金及後期繰

越金トシテ屬分ス 但役員賞与金ハ利益金ノ百分十以内トス

第三十五條

株主配当金ハ四月三十日株主名簿閉鎖ノ時ニ於ケル現在株主ニ

裏面白紙

之ヲ配ス

附則

第三十一条 本會社ノ負担ニ歸スヘキ設立費用ハ金五千円以内トス
第三十二条 發起人ノ住所氏名左ノ如シ

三菱合資會社查業課

世隆哈煙灰坑株式会社所属灰坑概況

本公司ノ採掘稼行シ目的トスルハ主トシテ俗ニ所謂ベトフスキー灰坑ニシテ本坑ハ大正七年八月ニ露人「ベトフスキー」ノ採掘許可ヲ得テ灰坑ニ大正十四年二月佐野滋氏ノ経営ニ移リタルモノシテ本公司ニ於テ継承経営セントスルモノナリ本坑ハ「アレキサンドロフカ」河ロヨリ分岐スル「カズリチナ」溪ノ上流ニ位シニ亞港ヲ距ルミト東北約一里半ノ地奥ニ位シ其間比較的良好ナル道路アリテ車馬ヲ通ズ 含炭層ハ中世紀層ニ属スルセリ層及第三紀層ニ属スル四六層上下ニ層アリ 炭質優良ニシテ塊炭ハ多ク其分析成績左ノ如シ

水分	揮発分	固定炭素	灰分	硫黄	粘結力	膨脹	コークス分	発熱量
二・一	三六・〇	五九・〇	五・七	〇・六	大	大	六二・八	六・〇〇〇

裏面白紙

薩摩連炭坑事業計劃書

本炭坑ハ初年度ニ於テ千八百化ガ二年度乃至第四年一年度ハ
三千六百化ヲ出炭シ以テ経済海上移弄ラト得ル程迄ニ止メガ
五年ないセ万化ヲ出炭シ島外輸送販賣スルモノトス

裏面白紙

薩哈連炭坑株式會社目論見書

一起業豫算

一、資本金額 五〇〇,〇〇〇円

但株數 一〇,〇〇〇株

一株額面金額 金五拾円

内第一回(第一年度)拂込金額 一二五,〇〇〇円

但一株三年金拾五拾五拾五

第二回(第三年度)拂込金額 二七五,〇〇〇円

但一株三年金拾七拾五拾五

合計拂込金額 四〇〇,〇〇〇円

其便金左ノ如ク

一、鑛業費 六〇,〇〇〇円

二、炭坑設備其他 三三〇,〇〇〇円

三、運轉資金 一一〇,〇〇〇円

裏面白紙

計		四〇〇、〇〇〇円
二 収支 豫算		
第一年度 (自大正十四年十月一日 至大正十五年三月三十一日)		
収入		一四、六八〇円
支出		一三、〇〇〇円
差引利益金		一、六八〇円
此利益金処分		
法定積立金		九〇円
株主配当金(年一分)		一、二五〇円
後期繰越利益金		三四〇円
第二年度 (自大正十五年四月一日 至大正十六年三月三十一日)		
収入		二九、三六〇円
支出		二六、〇〇〇円

裏面白紙

差引利益金	三、三六〇円
前期繰越利益金	三四〇円
合計利益金	三、七〇〇円
此利益金処分	
法定積立金	一九〇円
株主配当金(年々分)	二、五〇〇円
後期繰越利益金	一、〇一〇円
第三年度(自大正十六年四月一日起至大正十七年三月三十一日)	
収入	二九、三六〇円
支出	二六、〇〇〇円
差引利益金	三、三六〇円
前期繰越利益金	一〇一〇円
合計利益金	四、三七〇円
此利益金処分	

裏面白紙

法室積立金	二二〇円
株主配当金(年分五厘)	三一・二五円
後期繰越利益金	一〇・二五円
第四年度(自大正十七年四月一日起至大正十八年三月三十一日)	二九・三六〇円
収入	二六・〇〇〇円
支出	二六・〇〇〇円
差引利益金	三・三六〇円
前期繰越利益金	一・〇二五円
合計利益金	四・三八五円
此利益金処分	
法室積立金	二二〇円
株主配当金(年分三厘)	三七・五〇円
後期繰越利益金	四・一五円
第五年度(自大正十八年四月一日起至大正十九年三月三十一日)	

裏面白紙

収入	三四、六七〇円
支出	二六八、四〇〇円
差引利益金	七四、三六〇円
前期繰越利益金	四一五円
合計利益金	七四、七七五円
此利益金	分
法定積立金	三八〇〇円
株主配当金（割五分）	六〇、〇〇〇円
役員賞与金	一〇、〇〇〇円
後期繰越利益金	九七五円

内閣書記官長
江木翼殿

在中物なし

187

7

三菱合資會社印

藤谷連太郎氏

創立事務可

佐野

在中物なし